

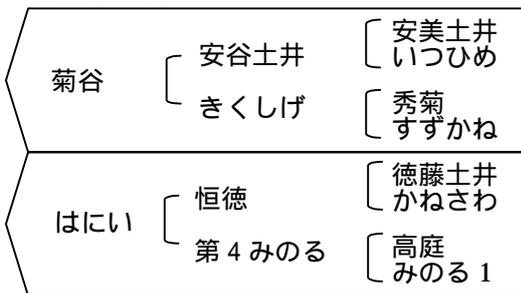
## 肉質に優れた県産黒毛和種雄牛「金菊徳」の作出

平成14年度に産肉能力検定（現場後代検定法）を終了した「金菊徳」の検定成績が特に優れていたことから、県の基幹種雄牛として選抜し、凍結精液の供給を開始した。

### 後代検定の概要

現場後代検定法では検定場所を複数の肥育農家等とし、去勢又は雌産子計15頭以上を用い慣行法により行う。肥育終了時月齢は雌で32ヵ月齢、去勢で29ヵ月齢未満であり、枝肉格付成績を取りまとめ、検定成績の優れたものを県の基幹種雄牛として選抜する。

### 「金菊徳」血統



繁殖者：金ヶ崎町  
及川喬一氏

平成10年7月10日生

表1 「金菊徳」現場後代検定成績（kg、cm<sup>2</sup>、cm、%）

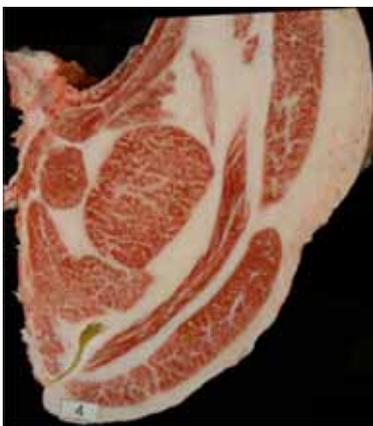
項目	去勢	雌	岩手県出荷平均(H14.1~H15.3)	
	(n=13)	(n=6)	去勢 (n=5,738)	雌 (n=3,948)
出荷月齢	28.3	28.2	30.0	29.8
枝肉重量	400	385	429	368
ロース芯面積	56	54	52	49
皮下脂肪厚	1.8	2.6	2.1	2.4
バラの厚さ	7.5	7.4	7.4	7.1
推定歩留	75.1	74.3	73.8	73.6
脂肪交雑(No.)	6.8	6.0	5.5	5.6
枝肉格付	A5:4	A5:2	5等級:18.8%	5等級:20.6%
	A4:7	A4:2	4等級:34.0%	4等級:32.3%
	A3:2	A3:2	肉質等級4・5率:52.6%	

産肉能力検定（現場後代検定法）成績の概要  
脂肪交雑、ロース芯面積、バラの厚さ及び歩留基準値で岩手県出荷平均を上回る結果となった。

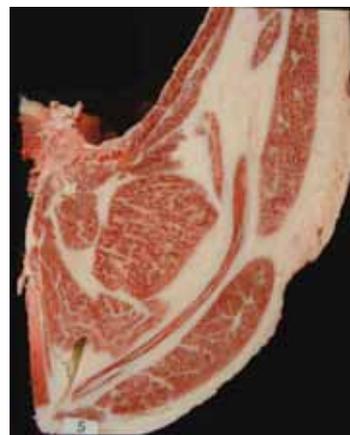
特に脂肪交雑は高い値を示し、平茂勝、福栄、美津福と同等の能力を示した。  
肉質等級4・5率は78.9%と高い割合を占め、安福165の9、北国7の8、美津福、福栄と同等であった。

### 産肉能力の特徴と交配ポイント

肥育素牛生産の場合、枝肉重量がやや小さくなる傾向があるので、大型の母体への交配が望ましい。また、「菊谷」産子への近親交配は避ける。



メス  
母の父：菊谷  
祖母の父：守1  
枝肉重量：385kg A5  
ロース芯：57cm<sup>2</sup>  
BMSNo.9



メス  
母の父：安福  
祖母の父：安栄  
枝肉重量：402kg A5  
ロース芯：56cm<sup>2</sup>  
BMSNo.10

担当研究室 畜産研究所 種山畜産研究室

〒029-2311 気仙郡住田町世田米字子飼沢 30 TEL. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177